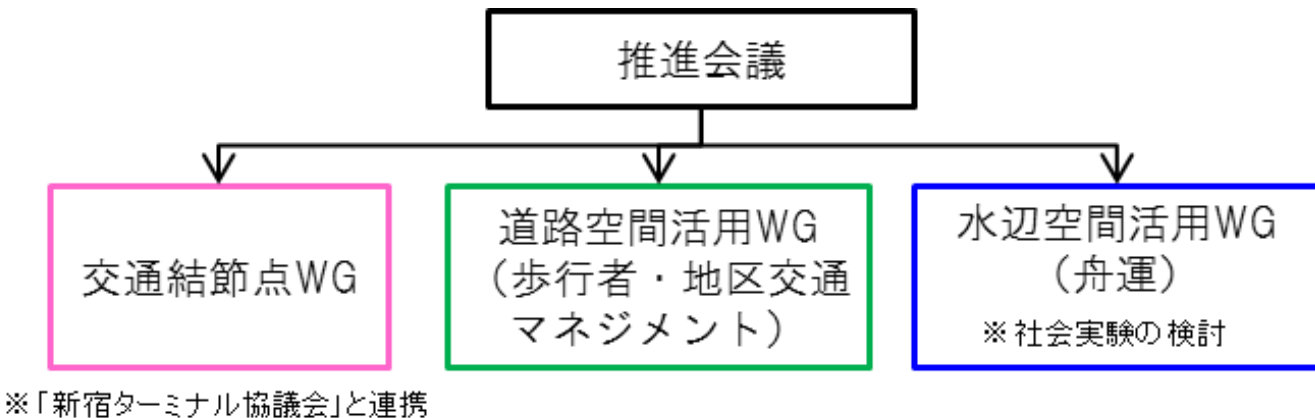


2020年までに改善に取り組むターミナル 駅的位置づけについて

交通結節点WGの位置付けと変更点

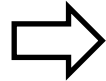
◇ 交通結節点WGの位置づけ



◇ 変更点

当初の予定 (H27.8 第1回交通結節点WG時点)

- 各WGでの成果などから成る交通戦略案を作成し、多様な意見を反映させた上で、平成28年内を目途に東京の交通戦略として取りまとめる。



今後の進め方

- 各WGの成果を実行プロジェクト集として取りまとめ、推進会議の報告とする。
- 2020年に向けて個々のプロジェクトを推進していく。

ターミナル駅への展開

○取組内容

- ・案内サインの改善
 - ・乗り換え動線のバリアフリーの推進
 - ・サービスの向上
- (新宿駅と同様の取り組みを他のターミナル駅に展開)

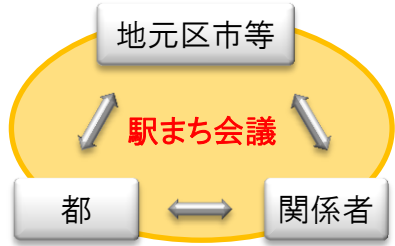
○取り組むターミナル駅

- ① 今年度、2020年大会までに改善に取り組むターミナル駅を位置付ける
- ② 次年度以降、他のターミナル駅についても、地元区市等の意向を踏まえ、追加していくことで、展開する

○検討体制の構築（駅まち会議の設置）

- ・地元区市の主導により、関係者による検討体制の構築
- ・都は、新宿駅の取組を参考に支援

※支援のツール
 ・ターミナル駅利便性向上指針



○スケジュール例

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
改善に取り組むターミナル駅	→	→	→	→	7月
	検討体制構築の準備	現状把握 基本ルール策定	詳細協議調整	整備実施	◎ オリンピック パラリンピック

2020年までに改善に取り組むターミナル駅の位置付けについて

◇ 本WGでは、一定の条件を満たすターミナル駅の中から、関係区市の意向を踏まえた上、2020年までに改善に取り組むターミナル駅を位置付ける。

○一定の条件

【乗降客数】

東京都内の1日の平均乗降客数20万人以上の駅

【事業者数】

駅に乗り入れる事業者数が2者以上の駅

【路線数】

駅に乗り入れる路線数が3路線以上の駅

一定の条件を満たすターミナル駅の関係区市にヒアリング

2020年までに改善に取り組むターミナル駅を位置付ける